

古文 品詞分解（動詞・助動詞） 「宇治拾遺物語」 〈児のそら寝〉 問題

今は昔、比叡の山に児^①あり^アけり。僧たち、宵のつれづれに、「いざ、かいもちひ^②せいん。」と^③言ひ^ウけるを、

この児、心よせに^④聞き^エけり。さりとして、^⑤し出ださ^オんを^⑥待ち^テて^⑦寝^カざら^キんも、わろかり^クな^ケんと^⑧思ひ^テて、

片方に^⑨寄り^テて、^⑩寝^コたるよしにて、^⑪出で来るを^⑫待ち^サけるに、すでに^⑬し出だし^シたるさまにて、

^⑭ひしめきあひ^スたり。

この児、さだめて^⑮おどろかさ^{セン}ずらんと、^⑯待ちゐ^タるに、僧の、「^⑰もの申し^⑱候は^チん。

^⑲おどろか^ッせ^⑳たまへ。」と^㉑言^フを、うれしとは^㉒思^フへども、ただ一度に^㉓いらへ^テんも、^㉔待ち^トけるかともぞ

^㉕思ふとて、いま一声^㉖呼ば^ナれて^㉗いらへ^ニんと、^㉘念じて^㉙寝^ヌたるほどに、「や、な^㉚起^コし^㉛たてまつりそ。

をさなき人は、^㉜寝^ネ入り^㉝たまひ^ニけり。」と^㉞言^フ声の^㉟し^ハければ、あな、わびしと^㊱思ひ^テて、

いま一度^㊲起^キこせかしと、思ひ寝に^㊳聞^キけば、ひしひしと、ただ^㊴食^シひに^㊵食^クふ音の^㊶し^トければ、ずちなくて、

無期のちに、「えい。」と^㊷いらへ^フたり^ヘければ、僧たち^㊸笑ふこと限りなし。

古文 品詞分解（動詞・助動詞） 「宇治拾遺物語」 〈児のそら寝〉 解答

ラ変Ⓚ 過去

今は昔、比叡の山に児^①あり^アけり。僧たち、宵のつれづれに、「いざ、かいもちひ^②せいん。」と^③言ひ^ウけるを、

サ変Ⓚ 意志

ハ四Ⓚ 過去

カ四Ⓚ 過去

サ四Ⓚ

婉曲

タ四Ⓚ

ナ下二Ⓚ

打消 婉曲

強意

推量

ハ四Ⓚ

この児、心よせに^④聞き^エけり。さりとして、^⑤し出ださ^オんを^⑥待ち^テて^⑦寝^カざら^キんも、わろかり^クな^ケんと^⑧思ひ^ウて、

ラ四Ⓚ ナ下二Ⓚ 存続

カ変Ⓚ

タ四Ⓚ

過去

サ四Ⓚ

完了

片方に^⑨寄り^テて、^⑩寝^コたるよしにて、^⑪出で来るを^⑫待ち^サけるに、すでに^⑬し出だし^シたるさまにて、

ハ四Ⓚ + 補助動詞

存続

^⑭ひしめきあひ^スたり。

サ四Ⓚ

推量

現在推量

ワ上二Ⓚ

存続

サ四Ⓚ

ハ四Ⓚ

意志

この児、さだめて^⑮おどろかさ^ゼんずらんと、^⑯待ちゐ^タるに、僧の、^⑰もの申し^シ候は^チん。

カ四Ⓚ

尊敬

ハ四Ⓚ

ハ四Ⓚ

ハ四Ⓚ

ハ下二Ⓚ

婉曲

タ四Ⓚ

過去

^⑰おどろかさ^セたまへ。」と^⑲言^フを、うれしとは^⑳思^フへども、ただ一度に^㉑いらへ^テんも、^㉒待ち^トけるかともぞ

ハ四Ⓚ

バ四Ⓚ

受身 ハ下二Ⓚ

サ変Ⓚ

ナ下二Ⓚ

存続

サ四Ⓚ

ラ四Ⓚ

^㉓思ふとて、いま一声^㉔呼ば^ナれて^㉕いらへ^ニんと、^㉖念じて^㉗寝^ヌたるほどに、「や、な^㉘起こし^㉙たてまつりそ。

ラ四Ⓚ

ハ四Ⓚ

完了

過去

ハ四Ⓚ

サ変Ⓚ

過去

ハ四Ⓚ

をさなき人は、^㉚寝^ネ入り^㉛たまひ^ニけり。」と^㉜言^フ声の^㉝し^ハければ、あな、わびしと^㉞思ひ^テて、

サ四Ⓚ

カ四Ⓚ

ハ四Ⓚ

ハ四Ⓚ

サ変Ⓚ

過去

いま一度^㉟起こせ^カしと、思ひ寝に^㊱聞^キけば、ひしひしと、ただ^㊲食^シひに^㊳食^ケふ音の^㊴し^トければ、ずちなくて、

ハ下二Ⓚ

完了

過去

ハ四Ⓚ

無期ののちに、「えい。」と^㊵いらへ^フたり^ヘければ、僧たち^㊶笑ふこと限りなし。